資料１

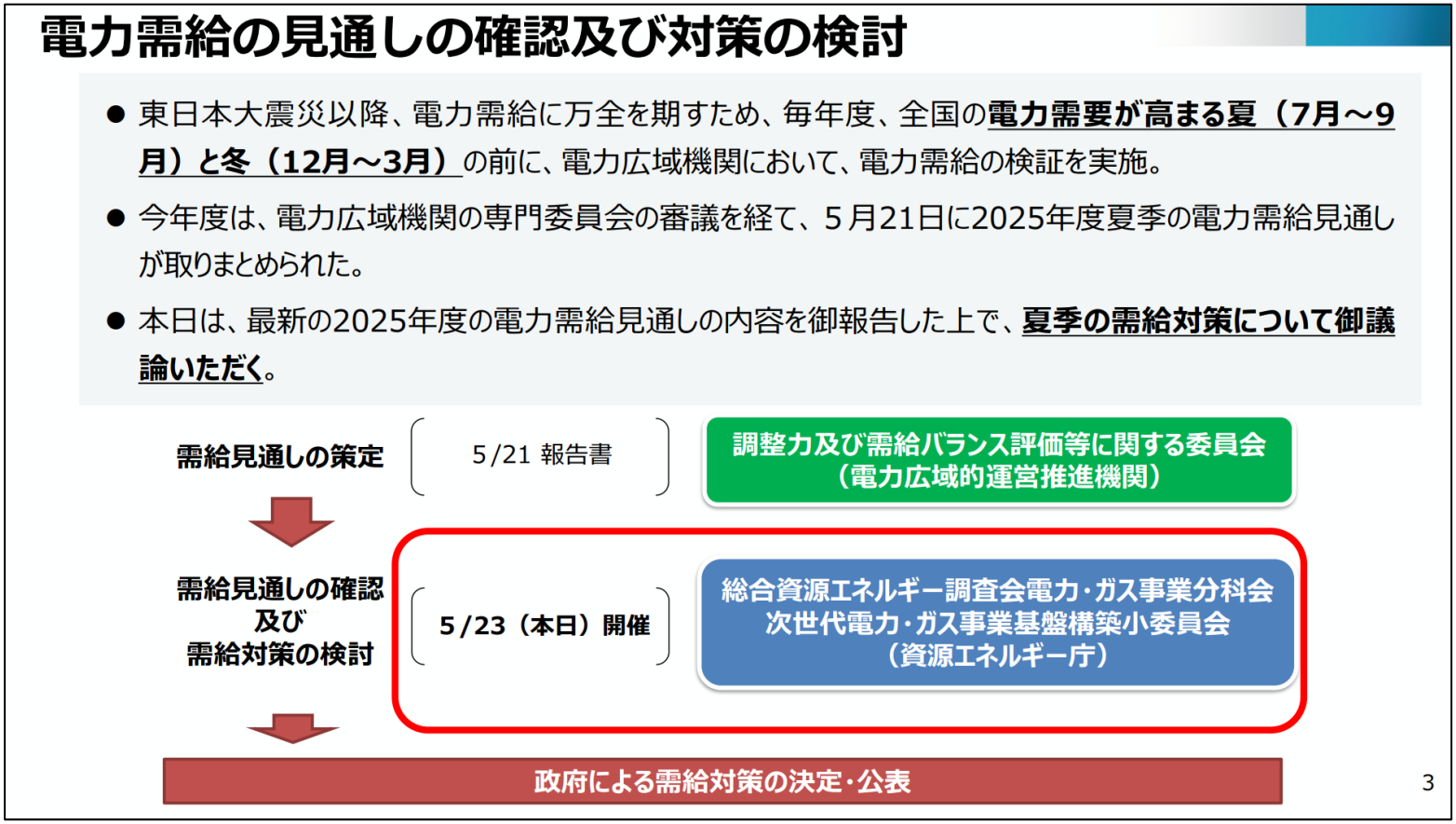
北海道エリアの２０２５年度夏季の電力需給見通しについて

２０２５年５月２３日
北海道電力ネットワーク株式会社

１　電力需要検証について

ほくでんネットワーク

- 電力需要が高まる夏季・冬季の前に、１０年間に１度の猛暑・厳寒を想定した電力需要に対して安定供給が可能かを検証しています。
- 本日、経済産業省の「次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会」において、２０２５年度夏季需給見通しが報告され、これを踏まえた電力需給対策が取りまとめられました。



出所：総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 第１回次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会［2025年5月23日開催］資料９）

２　２０２５年度夏季（今夏）の需給見通し

ほくでんネットワーク

- 北海道エリアの今夏需給見通しは、１０年に１度の猛暑を想定した電力需要に対して、最も供給予備率が低い８月で７．６％と想定しており、電力の安定供給に最低限必要な供給予備率である３％以上を確保できる見通しです。

【今夏需給見通し（北海道エリア）】

○全国における最小予備率時（17時※）

		7月	8月	9月
供給力	[万kW]	495	482	453
需要	[万kW]	458	448	412
供給予備力	[万kW]	37	34	42
供給予備率	[%]	8.2	7.6	10.1

※太陽光の出力が減少する時間帯

○全国における最大需要発生時（15時）

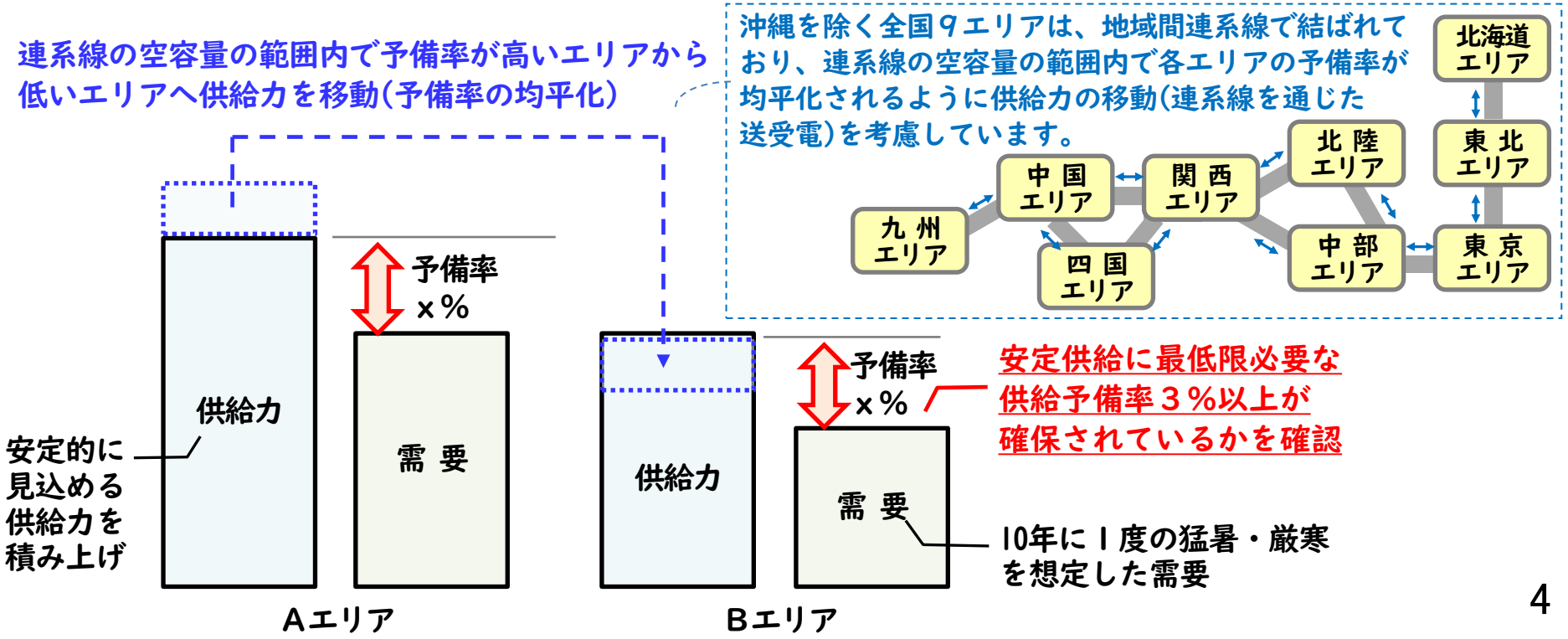
		7月	8月	9月
供給力	[万kW]	524	504	482
需要	[万kW]	474	465	410
供給予備力	[万kW]	49	39	73
供給予備率	[%]	10.4	8.4	17.8

【参考１】電力需要検証の概要

ほくでんネットワーク

- 猛暑・厳寒による冷暖房需要の増加を見込んだ需要想定と安定的に見込める供給力の積み上げ結果を比較し、安定供給が可能かどうかを検証するものです。
- 電力広域的運営推進機関が広域的な視点に基づき、連系線の活用等を考慮して需給バランス評価を行っています。
- 需給バランス評価は、最大需要時に加えて、太陽光の出力が減少する時間帯の予備率も確認するために最小予備率時の評価も行っています。

【需給バランス評価のイメージ】



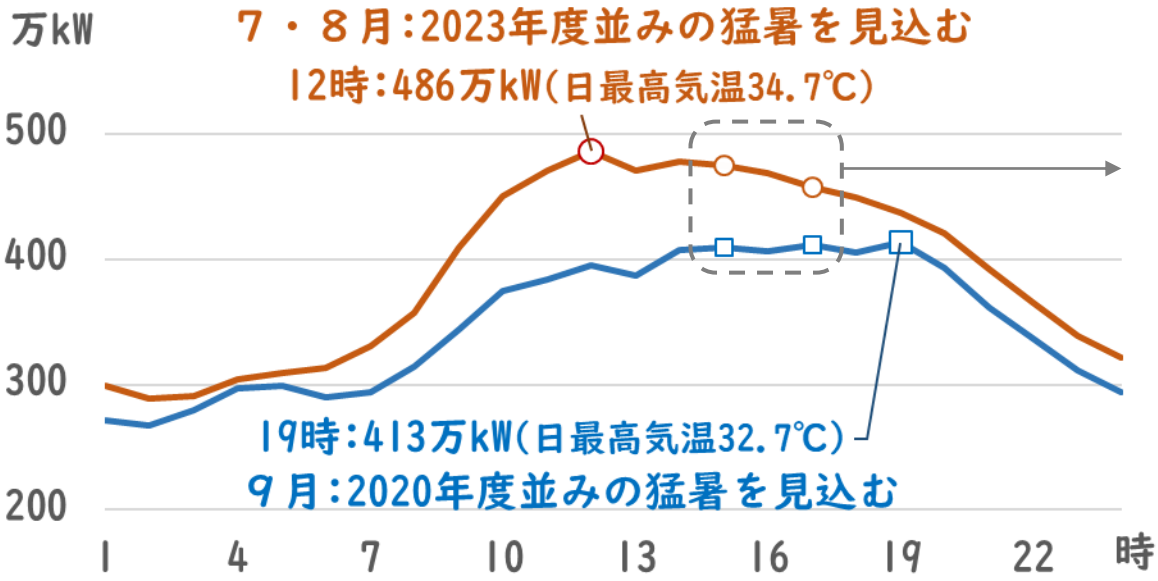
【参考１】電力需要検証の概要（つづき）

ほくでんネットワーク

- 今夏の需要見通しは、７・８月が２０２３年度並みの猛暑を、９月が２０２０年度並みの猛暑を見込んで想定しています。
- 一方、供給力見通しは、安定的に見込める供給力の積み上げた後、その一部が計画外停止等により、実際の運用断面で供給力に見込めない可能性を考慮しています※。

※計画外停止率2.6%（全国一律）を減じて算定

【今夏の需要見通し】



最小予備率時（17時）、全国最大需要時（15時）の需要を基に電力広域的運営推進機関が広域的な視点から評価

需要見通し

［万kW］	７月	８月	９月
最小予備率時（17時）	458	448	412
最大需要時（15時）	474	465	410